

訪れたいまち

京都府京丹後市・宮津市・伊根町・与謝野町

海の京都

京丹後市

伊根町

宮津市

与謝野町

京都府



京都の綺麗な海を眺めながら走るバス(京丹後市丹後町)。
鮮やかなオレンジがなんとも言えずかわいらしい。

観光名所を数多く有している丹後半島。

2市2町が強力なタッグを組み、

公共交通王国丹後半島が誕生。

過疎地域の路線バスが起こす観光革命とは？

京丹後市 負の連鎖を断ち切る！

「路線バスを思いっきり良くしたかった」と話すのは京丹後市の公共交通を担当する野木秀康さん。

平成16年に6つの町が合併し、誕生した京丹後市。当時、路線バスの乗客数はピーク時(平成3年)の半分にまで落ち込んでいた。地域の過疎化に伴って乗客が減り、収入を上げるために運賃の値上げ。区間最大運賃が千円を、通学定期券に至っては、1年間で26万円を超えることもあった。高額運賃であるがため、さらに乗客数は落ちていく。これぞ負の連鎖。

負の連鎖は運行会社のみならず、市民の税金にも及んでいく。運行事業者への補助金だ。平成18年の想定で、3年後の平成21年には1億円を超えることが分かった。「どうせ公費を投入するなら、生きたお金にしなれば」と野木さんを含む公共



2市2町の担当者と運行事業者の皆さん。京丹後市野木さん(2列目左から2番目)。ほか1市2町の皆さんもそれぞれの地域を愛し、その熱意に応えるべく、丹海バスの方も努力されている。

交通対策プロジェクトチームが立ち上がる。平成17年に大規模な市民アンケートを実施。6割が運賃300円以下を希望していたが、300円ではインパクトに欠けるとして、上限200円での社会実験を始める。

高校生は、親御さんの送迎から路線バスに転換できたことで、学校の選択肢が増えた。また、見られたくない通帳を嫁に渡し、記帳してきてもらう、なんて姑の我慢はなくなる。通院にお金がかかり過ぎるから病院に行けない、という年配の方はい



路線バスで行く丹後半島めぐり

京都の美しい海、景色を路線バスで堪能しよう。



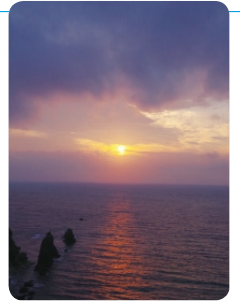
1 琴引浜
ことひきはま
鳴き砂で有名。世界初の禁煙ビーチ。バス停「琴引浜」徒歩9分。



2 立岩と聖徳太子母子像
柱状の割れ目が美しい巨大な一枚岩。聖徳太子の母が戦乱から逃れ住んでいたとされる。バス停「丹後庁舎前」徒歩5分。丹後庁舎前～経ヶ岬まではフリー乗降できる。



3 道の駅てんきてんき丹後
オートキャンプ場併設。喫茶・食事スペースのほか、丹後の特産品も豊富。駅内にある山陰海岸ジオパーク京丹後市情報センターにはジオパークガイドが常駐。バス停「てんきてんき村」徒歩1分。



4 屏風岩
びょうびわ
国道178号休憩所から臨む。夕陽が大変綺麗に見えるスポット。



5 宇川温泉 よしの里
周遊バスの拠点。宿泊も日帰り温泉も可能。静かでゆったりとした空間。バス停「宇川温泉 よしの里」。



山陰海岸ジオパーク
経ヶ岬から鳥取県白浜海岸までは、地球科学的に重要な自然であるとして、世界ジオパークに加盟。



10 ちりめん街道
重要伝統的建造物群保存地区。ちりめん産業で華やいた大正から昭和初期にかけての町並みが残る。バス停「ちりめん街道」。

● ...主なバス停留所名
●●● ...200円バス名エリア※
●●● 停留所
※複数エリアで、路線変更、エリア内途中乗降については追加料金が発生します。



北近畿タンゴ鉄道 あかまつとあおまつ
観光型リニューアル車両として、西舞鶴駅と福知山、豊岡駅を結ぶ。宮津、網野駅から路線バスに乗り換え周遊へ!



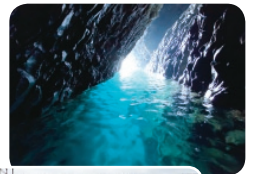
9 傘松公園と天橋立股のぞき
行きはケーブルカー、帰りはリフトで、絶好の景色を堪能。股のぞきの景色は、海と空が逆になり、天橋立が天にかかると浮き橋のように見える。バス停「傘松ケーブル下」よりケーブルカーで4分。マスコット「かさぼう」がお出迎え。



8 伊根の舟屋、伊根湾めぐり
重要伝統的建造物群保存地区。舟のガレージを持つ独特な形状の家が建ち並ぶ伊根湾を周遊。バス停「伊根湾めぐり・日出」徒歩1分。



6 とび丸タクシー
漁師さんが説明しながら海を案内してくれる。小魚釣りも楽しめる。バス停「中浜海ノ家前」徒歩5分。
※定置網漁体験、青の洞窟巡りができるコースもあり。バス停「竹野」徒歩10分。



7 袖志の棚田
そでし
日本の棚田百選に選ばれた。バス停「袖志」徒歩5分。





運転手が幼稚園でバスの乗り方指導をする。和やかな空気が見えるようだ。

なくなる。「乗ってもらえるバス」になった。現在では、市や運行会社が宣伝をするまでもなく、市民一人ひとりが宣伝マン。「私、一人で病院に行けたわよ。あなたもバスに乗ってごらん」——□□ミだ。

4年かけた社会実験で、乗車数は2倍以上に増えた。成果が出たということ、平成22年10月から本運行となる。

力を尽くしたのは行政だけではない。「ただの契約関係ではなく、我々（行政と運行事業者）は信頼関係で成り立っている。丹海さん（丹後海陸交通）の企業努力のおかげだ（野木さん）。安全輸送の確保はもちろんのこと、燃料費が高騰している中、キロ単価を下げたり、運転手が幼稚園や保育所でバスの乗り方指導や絵本の読み聞かせなどを行う。

キーワードは「丹後は一つ！」

京丹後市の200円バスが軌道に乗ると、周辺地域の住民から「なぜ京丹後でできるの？うちではできないの？」という意見が出始める。そこで、自分たちのまちだけではなく、丹後半島として広域で人の流れを見ることができないか——と考えた。

宮津市、伊根町、与謝野町、そして京丹後市。2市2町の公共交通担当者が集まり、丹後は一つをキーワードに、自治域を超えた交通施策へと乗り出す。地形や人口、まちの財政状況など異なる背景を抱えながらも、公共交通王国丹後半島の誕生を目指す。

200円バスが観光革命を起す

平成25年10月1日から丹後半島で200円バスの運行が開始されることになった。京丹後市の社会実験から8年。ようやく丹後半島全域に広がり、丹後は一つが実現する。また、この取り組みは地元の方だけではなく、観光客にとっても大きな変化をもたらす。

丹後半島は数多くの観光名所を有している。日本三景の一つ「天橋立」（宮津市）、日本でここしかない景色を見せる「伊根の舟屋」（伊根町）、鳴き砂で有名な「琴



2市2町の担当者とで停留所を周るなど、共に模索する。

引浜」（京丹後市）、高級織物丹後ちりめんで栄えた「ちりめん街道」（与謝野町）など。数えるともまだまだあるのだが、今までは周遊するにはバス運賃が高い上に、アクセスが悪かった。天橋立を見てそこで足が止まってしまう、近県での宿泊へ。丹後半島をぐるっと回るだけで観光名所だらけだということもつらい！と3つのエリアに区切り、周遊上限600円を可能にした。これだけ多種多様な観光スポットをたったの600円で巡ることができるとはまさに「観光革命」。近隣に観光客を逃している丹後半島に人が滞留するようになる日は近い。

丹後半島にとっての公共交通とは？

「公共交通は人の体と同じ。動脈や静脈が死んでしまうと体も死んでしまふ。バスや鉄道がダメになればまちもダメになる。人、物、金がつまぐ循環できる仕組みを

公共交通が担っている。まちの人たちが笑顔になってくれるような公共交通を目指したい」と野木さんは熱く語る。

おばあちゃんがバスに乗って病院に行けるようになり、送迎をしていたお嫁さんがパートに出る。パートで得た収入で、市内のスーパーで買い物をする。これだけで人、金、物が循環する。この循環が京丹後市にとどまらず、丹後半島全体に行き渡り、そして観光客もとらえることができる。

丹後を一つに、そして観光革命を起す公共交通王国丹後半島。景色が美しく、食べ物も美味しい。魅力がぎゅっ詰まっている丹後半島にきちゃーい！（いらいやいー）

地域公共交通確保維持改善事業

バスや鉄道、船など生活交通の存続が危機に瀕している地域などで、地域の特性・実情に最適な移動手段の提供、駅のバリアフリー化など移動の際のさまざまな障害の解消など、地域公共交通の確保、維持、改善を支援する制度。

京丹後市・宮津市・伊根町・与謝野町はこの事業を活用し、200円バスの第2ステージへと踏み出そうとしている。

また、この事業の前身となる「地域公共交通活性化・再生総合事業」で、京都府、市町、事業者などによる「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」の地域一丸となった積極的な取り組みが評価され、国土交通大臣賞を受賞（平成21年度）。





MLIT レポート 京都府

全国各地で働く国土交通省職員が地元を紹介!

Reporter

海上保安庁
第八管区海上保安本部
舞鶴海上保安部交通課
主任航行援助管理官

呉屋 誠



海上保安庁では、日本の灯台建設に西洋技術を初めて用いた「観音崎灯台」(神奈川県横須賀市)の起工日である明治元年11月1日にちなみ、11月1日を「灯台記念日」としています。明治元年の起工から平成25年11月1日で145周年を迎えます。

第八管区海上保安本部では、代表的な沿岸灯台として13基を保有しており、舞鶴海上保安部では、そのうち2基の保守管理をしています。

経ヶ岬灯台は、その2基の中で最も古く、完成は明治34年。海上を照らすフレネルレンズは、イギリスで文政5(1822)年に開発され、第一等(レンズの中で一番大きい)にランクされています。これは日本国内では、大吠埼灯台(千葉県)、室戸岬灯台(高知県)、角島灯台(山口県)、出雲日御碕灯台(島根県)、そして経ヶ岬灯台の5灯台にしかありません。

また、レンズを回転させる「水銀槽式回転機械」は、明治26(1893)年にフランスの灯台技師が発明。当時、画期的だとして世界中から注目され、パリ万国博覧会に展示されたものを購入し、経ヶ岬灯台に設置しました。

灯台記念日の関連行事として、平成25年11月2日(土)に経ヶ岬灯台の一般公開を行います。普段は入ることのできない灯台内部で珍しいレンズを見学したり、素晴らしい景色をご覧になりませんか?



平成25年11月2日
一般公開を行います!

管区紹介

第八管区海上保安本部
福井県から島根県に至る西部日本海で、巡視船や航空機などを使って海の安全を守っています。



経ヶ岬灯台外観

近代化産業遺産や日本の灯台50選などにも選ばれている。



第一等3面フレネル式閃光レンズ

検索

海上保安庁 第八管区海上保安本部 舞鶴海上保安部
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/08kanku/maizuru/>